



夏季死亡災害ゼロ101日運動通信

【運動期間：平成26年6月1日～9月9日】

第4号

8月号

全国的に労働災害が多発傾向 厚生労働省で緊急要請発出！！

労働災害のない職場づくりに向けた緊急要請について
平成26年8月5日付け基安発0805第3号

労働災害のない職場づくりに向けた緊急要請

労働災害の発生件数は、関係各位のご尽力により長期的には着実に減少してきましたが、平成22年、23年、24年と3年連続で増加という事態となり、労使、関係者一丸となって対策を講じた結果、平成25年は4年ぶりに前年を下回りました。しかしながら、平成26年は再び増加傾向に転じており、死亡者数は対前年比19.4%（6月末現在）の大幅な増加となっております。また、休業4日以上之死傷者数も対前年比3.6%（同）の増加となっております。

本年の労働災害が増加している背景には、消費税の増税前の駆け込み需要や2月の大雪の影響のほか、4月以降も前年同期を上回る労働災害が発生していることから、産業活動が引き続き活発になっていることがあると考えられます。

また、これまで労働災害防止活動に積極的に取り組んできた製造業、建設業、陸上貨物運送事業などでも、死亡災害が大幅に増加しており、経済状況が好転する中、人手不足が顕在化し、企業の安全衛生管理体制の「ほころび」が懸念されます。

さらに、小売業をはじめとする第三次産業において労働災害の割合が拡大傾向にあります。こうした業種では重篤な労働災害が少なく、安全に対する意識が事業者、労働者ともに弱いことがその背景にあると考えられます。そのほか、若年者をはじめ経験が十分でない労働者に対して効果的な安全衛生教育が実施されているかも確認が必要と考えます。

安心して働くことができる職場づくりは、人材を確保・養成し、企業活動を活性化する上でも、大きなメリットをもたらします。事業者の皆様におかれましては、上記の労働災害増加の背景と併せ、こうした点も考慮いただき、誰もが安心して健康に働くことができる社会を実現するために、企業の安全衛生活動を今一度総点検していただくよう要請いたします。

その上で、労使の皆様をはじめ、関係者が一体となって以下の取組を徹底し、労働災害防止に努めていただきますよう、併せて要請いたします。

- 1 経営トップの参加の下に職場の安全パトロールを実施するなど、職場内における安全衛生活動の総点検を実施すること
- 2 安全管理者等の選任義務がない事業場においても安全の担当者（安全推進者）を配置するなど、事業場の安全管理体制を充実すること
- 3 雇入れ時教育を徹底するなど、効果的な安全衛生教育を実施すること

平成26年8月5日

厚生労働省労働基準局

安全衛生部長 土屋 喜久

岩手も4年連続増加、さらに今年も対前年同期比で増加中
一関監督署管内も2年連続増加、さらに今年も対前年同期比で増加中

緊急要請
緊急要請
緊急要請
緊急要請
緊急要請
緊急要請
緊急要請
緊急要請
緊急要請

緊急要請
緊急要請
緊急要請
緊急要請
緊急要請
緊急要請
緊急要請
緊急要請
緊急要請

夏季死亡災害 ゼロ 101日運動

101日運動は、平成9年度から、毎年この時期(6月1日~9月9日)に展開され、今年度は18年目となりますが、近年は4年連続で死亡労働災害が発生していません。

昨年の期間中には3人が亡くなり、6月、7月、8月と続けてでした。

今年は6月~8月は死亡ゼロとなっています。
ゼロ災に向けてみんなで頑張りましょう!!

県内の死亡災害発生状況

今年、岩手県内では、5月から7月を期間として「死亡労働災害防止強化期間」が展開され、各事業場・各労働者のみなさん・各団体等で普段以上に災害防止に取り組んでいただきました。

期間中には、死亡労働災害が5月に2件(人)と7月上旬に1件(人)発生し前月号などでお知らせしていましたが、その後、運動期間の最終日に1件(人)、さらに運動終了直後に2件(人)発生してしまいました。

昨年1年間の死亡労働災害は19件(人)でしたので、今年は8月上旬で早くも昨年1年間と並んでしまいました。

最近の一関監督管内の主な災害事例!

【業種複数(建設業・運輸業)】 熱中症
「いずれも休業4日未満」

【業種複数(林業・清掃業)】 蜂刺され
「不休」

【製造業】 加工品のエラーに伴いロール機内に手を入れて修正しようとした際ロール機に肩まで巻き込まれた。
「肩骨折」

【製造業】 加工品のロス部分を除去するためロール機から付属のシャフト部分に手で直に巻き直していた際、シャフトと加工品(ロス)の間に腕が巻き込まれた。また、機械を停止させようとした際、スピードつまみを増速方向に回してしまい、さらに強い回転で巻き込まれた。
「腕骨折・挫傷」

【製造業】 トラックの停車位置が工場のプラットホームと距離が少し空いてしまったがそのまま荷降ろし作業した結果、作業中にホームとトラックの間に足を踏み外して墜落した。
「ろっ骨骨折」

【飲食業】 容器の回収先を車で回り終わり、帰社中、居眠り運転(午後3時)をしてしまい、対向車線のガードパイプに衝突した。「腕・肘骨折」

平成26年 死亡災害発生状況 (5月以降) (8月末現在)

岩手労働局

番号	署別	業種	発生日	曜日	性別	年齢	事故の型	起因物	災害発生の概要	発注者
14	大船渡	建設業 (その他の土木事業)	5月8日	木	男	64	はさまれ・巻き込まれ	トラック	ダンプトラックの荷台を上げ整備作業を行っていたところ、ダンプトラックの荷台と車体フレームの間に体をはさまれた。	地方公
15	宮古	その他の事業 (その他の事業-その他)	5月29日	木	男	61	崩壊・倒壊	その他の仮設物、建築物、構築物等	海上(漁港内)のボーリング用槽(やぐら)の足場で労働者3人が測定の作業を行っていたところ、槽が倒壊したため同3人が海に落ち1人が溺死した。	
16	花巻	建設業 (鉄骨・鉄筋コンクリート造 家屋建築工事業)	7月5日	土	男	62	墜落、転落	足場	型枠の洗浄作業終了後、高さ1.8mの足場から前向きに墜落し、腹部を強打した。	民間
17	盛岡	建設業 (電気通信工事業)	7月31日	木	男	55	感電	電力設備	動力電源のルート変更工事において、配電盤のブレーカー端子を取り換えるため、ケーブルカッターでブレーカーの活線(200V、225A)の切断作業を行っていたところ、感電した。	民間
18	釜石	製造業 (造船業)	8月4日	月	男	59	墜落、転落	作業床、歩み板	船の外周に組み立てられた、わく組足場の解体作業中、高さ7.2mの作業床から墜落した。	
19	花巻	運輸交通業 (一般貨物自動車運送業)	8月4日	月	男	43	飛来、落下	クレーン	荷主先で、木製の柱(60×60×670cm、重さ1.8t)をトラックに積み込む作業中、クレーンで柱を吊り上げたところ、並べて置いてあった隣の柱に接触し落下。トラックの荷台と柱に挟まれた。	

最近の主なトピックス

労働災害のない職場づくりに向けた緊急要請について
平成26年8月5日付け基安発0805第3号
内容 左ページの緊急要請のとおり

「職場の健康診断実施強化月間」の実施について
平成26年8月7日付け基安発0807第1号
内容 昨年からの運動。閣議決定された「日本再興戦略」で「健診受診率の向上」が目標として掲げられたことを踏まえ、労働安全衛生法に基づく事業者による健康診断及び事後措置を改めて徹底するため、本年度も労働衛生週間準備期間である9月を強化月間と位置づけ、集中的・重点的な取り組みを行なうもの。

がん患者・経験者の就労支援のあり方に関する検討会報告書の送付について

平成26年8月20日付け事務連絡

内容 平成24年6月に閣議決定された、がん対策推進基本計画において、新たに全体目標に位置づけられた「がんになっても安心して暮らせる社会の構築」を実現するため、がん患者・経験者の就労支援について本年2月より、「がん患者・経験者の就労支援のあり方に関する検討会」において検討を始め、今般報告書がとりまとめられた。

平成26年度(第65回)全国労働衛生週間の実施について

平成26年7月31日付け基発0731第2号